

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

人工知能による急性大動脈症候群の発症予測と診断

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院病態病理学系 人体病理学分野（日本大学医学部附属板橋病院病理診断科）教授
羽尾 裕之

＜研究期間＞

承認日 ～ 令和 11（西暦 2029）年 10 月 31 日

＜対象となる方＞

2000 年 1 月 1 日 ～ 2029 年 4 月 30 日の期間に急性大動脈症候群（AAS）により手術、剖検を行った方。また非 AAS 患者で剖検を行った方。

＜研究の目的＞

当研究は、急性大動脈症候群（AAS）患者の臨床情報や画像検査所見、組織検体等から得られた知見から、AAS を正確に診断できる人工知能を作成します。このような人工知能を作成することにより、将来的に AAS を発症し得る患者のリスク層別化や早期発見、診断、治療介入が期待できます。A

＜研究の方法＞

日本大学医学部附属板橋病院と研究協力施設である大阪警察病院、日本大学病院で得られた、AAS 患者の診断時に撮像した画像検査所見や、手術、剖検の際に摘出した大動脈壁組織を用いて、臨床情報と病理組織学的評価の相関を比較検討します。また、AAS 患者の診断時やそれ以前の胸部 X 線や CT、血液検査データ、非 AAS 患者の同データを用い、人工知能を応用して AAS 発症リスクの層別化や AAS を診断するシステムの構築を目指します。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

参加者の検査データや手術、剖検の際に採取し病理診断科で保存してある組織を使用します。

＜外部への試料・情報の提供の方法＞

個人情報に十分に配慮した電子配信を予定しています。

＜試料・情報の提供を開始する予定日と、提供を行う機関およびその長の氏名＞

2024 年 11 月 1 日以降に開始する予定です。提供先の機関は下記です。

日本大学理工学部 内木場文男

日本大学生産工学部 豊谷純 他

＜外国にある者に試料・情報を提供する場合＞

該当なし

<研究を実施する機関組織>

日本大学理工学部 内木場文男

日本大学生産工学部 豊谷純 他

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院 人体病理学分野 母坪友太

住所：〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

連絡先：03-3972-8111（内線）2252

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方